



リラックスタウン 日向
RELAX TOWN HYUGA

平成30年度 市長と語るまちづくり座談会

日 程	会 場	対象地区
7月13日（金）	日知屋公民館	日知屋本郷・細島地区
7月17日（火）	南日向公民館	平岩地区
7月23日（月）	財光寺南地区まちづくり事務所	財光寺地区
7月31日（火）	大王谷コミュニティセンター	日知屋枝郷地区
8月 2日（木）	美々津公民館	幸脇・美々津・寺迫地区
8月 6日（月）	中央公民館	新町・富高・塩見地区
8月 8日（水）	東郷さくら館	東郷地区



本日の座談会の流れ

1. 開会、出席者紹介
2. 意見交換（60分）

テーマ①『子育て支援』（30分）

- ・ 市長が市の取り組みについて説明（5分）
- ・ 皆さんとテーマについて意見交換（25分）

テーマ②『産業振興』（30分）

- ・ 市長が市の取り組みについて説明（5分）
- ・ 皆さんとテーマについて意見交換（25分）

3. その他（20分）

テーマ以外について自由な意見交換

私が掲げる市政運営のテーマ

t₂-!

不易流行

(ふえきりゅうこう)

残し伝えるべきものを残し、変えるべきものを
変えていくこと。

“変化を恐れず挑戦することで地方自治体は
存続する”

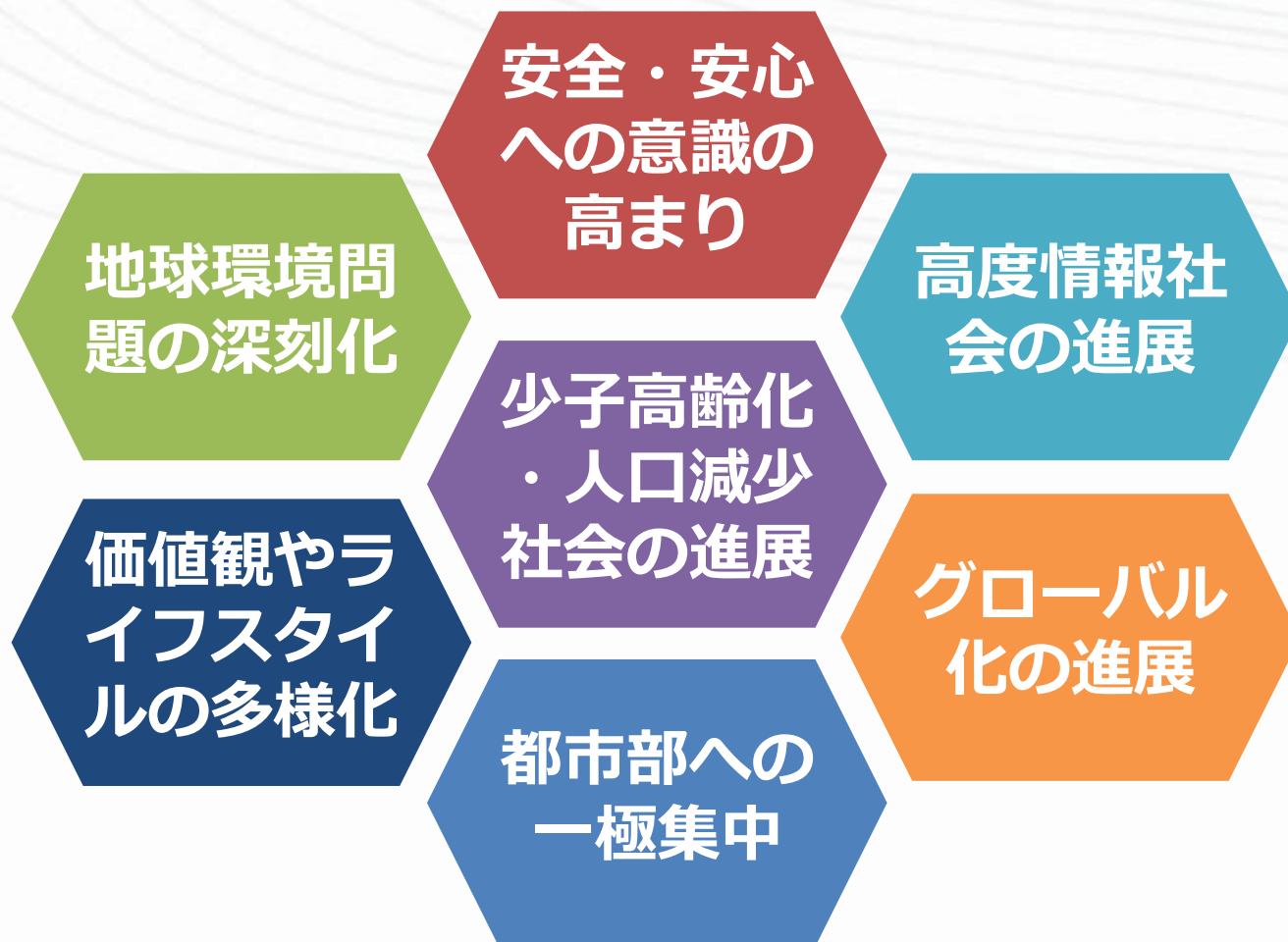


— 職員と市長のベクトルを合わせるため、全職員の前で自ら思いを伝える —

市政に求められている「変化」

t₂-!

時代とともに自治体を取り巻く環境は変わってきている



⇒変化を恐れず、市政に新たなものを取り入れて発展させていかなければいけない

第2次日向市総合計画の策定

t₂-!

海・山・人がつながり 笑顔で暮らせる元気なまち

若者に選ばれるまち“日向”未来づくり戦略

戦略

1

未来へつなげる人づくり戦略

郷土愛を持ち、社会に貢献する元気な若者を育てます

戦略

2

活力を生み出すにぎわいづくり戦略

若者が魅力を感じる活力に満ちたまちをつくります

戦略

3

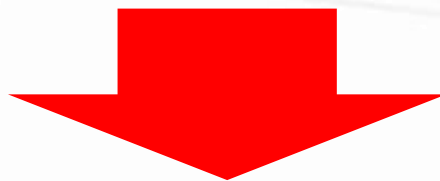
笑顔で暮らせるまちづくり戦略

若者も安心して住み続けられるまちをつくります

総合計画の実現に向けて

t₂-!

市民の皆さんと広く意見交換を行い、
意思の疎通を図りながら、協働で
まちづくりを進めていく必要があります。



市長と語るまちづくり座談会



テーマ①

『子育て支援』

戦略 3 | 笑顔で暮らせるまちづくり戦略
若者も安心して住み続けられるまちをつくります。

3-3 安心して産み育てる“みんなで子育て”プロジェクト

- ・ 子育て環境を充実し、地域で若者の子育てを支援します。
- ・ 関係機関が連携し、妊婦期から子どもの健やかな成長を見守る体制を整えます。

主な
事業

病児・病後児保育の推進、子どもの貧困対策
地域子育て拠点の拡充、ヘルシー・スタート事業の推進
放課後児童クラブの拡充、子育て支援を担う人材の確保

安心して子どもを生み育てられる環境づくり

① 妊娠・出産環境の充実

- 特定不妊治療費助成事業

② 乳幼児の健康・育児に対する支援の充実

- 未熟児養育医療給付事業、ヘルシースタート事業

③ 子育て支援制度の充実

- 子ども子育て支援事業計画策定事業、子ども医療費助成事業、児童手当給付事業、発達障がい児相談員設置事業、子育て短期利用事業、保育所等整備事業、一時預かり事業、施設型給付事業、障がい児保育事業、保育の質の向上のための幼保合同研修等推進事業、保育士幼稚園教諭等人材確保対策事業

④ 子育てと仕事の両立支援

- 放課後児童クラブ事業、延長保育促進事業、病児病後児保育事業、認可外保育施設支援事業、保育事業

⑤ 家庭・地域の子育て力の充実

- 子育て家庭支援推進事業、保育所地域活動事業

⑥ ひとり親家庭への支援

- 児童扶養手当給付事業、寡婦医療費助成事業、母子寡婦福祉事業、ひとり親家庭医療費助成事業、高等職業訓練促進給付金等事業、自立支援教育訓練給付金事業、母子父子自立支援員設置事業、ひとり親家庭等日常生活支援事業

⑦ 児童虐待を防止する体制の強化

- 家庭児童相談員設置事業、児童虐待防止対策支援事業

妊娠期から子育て期にわたるまで切れ目のない 支援「ヘルシースタート事業」

t₂-!

ヘルシースタート

医療・保健・福祉・教育が連携し、妊
娠期から子育て期にわたるまで切れ目
のない支援を行うもの。



妊娠、出産、育児等に関する相談に応じ、
支援を行う「日向市子育て世代包括支援
センター」を平成29年度に設置。

～平成29年度

「産前・産後サポート」
「乳幼児健診」「乳児家庭全戸訪問」
「養育支援員訪問」「つどいの広場」
「ファミリーサポート」等の事業実施

平成30年度

「産婦健診事業」「産後ケア事業」開始

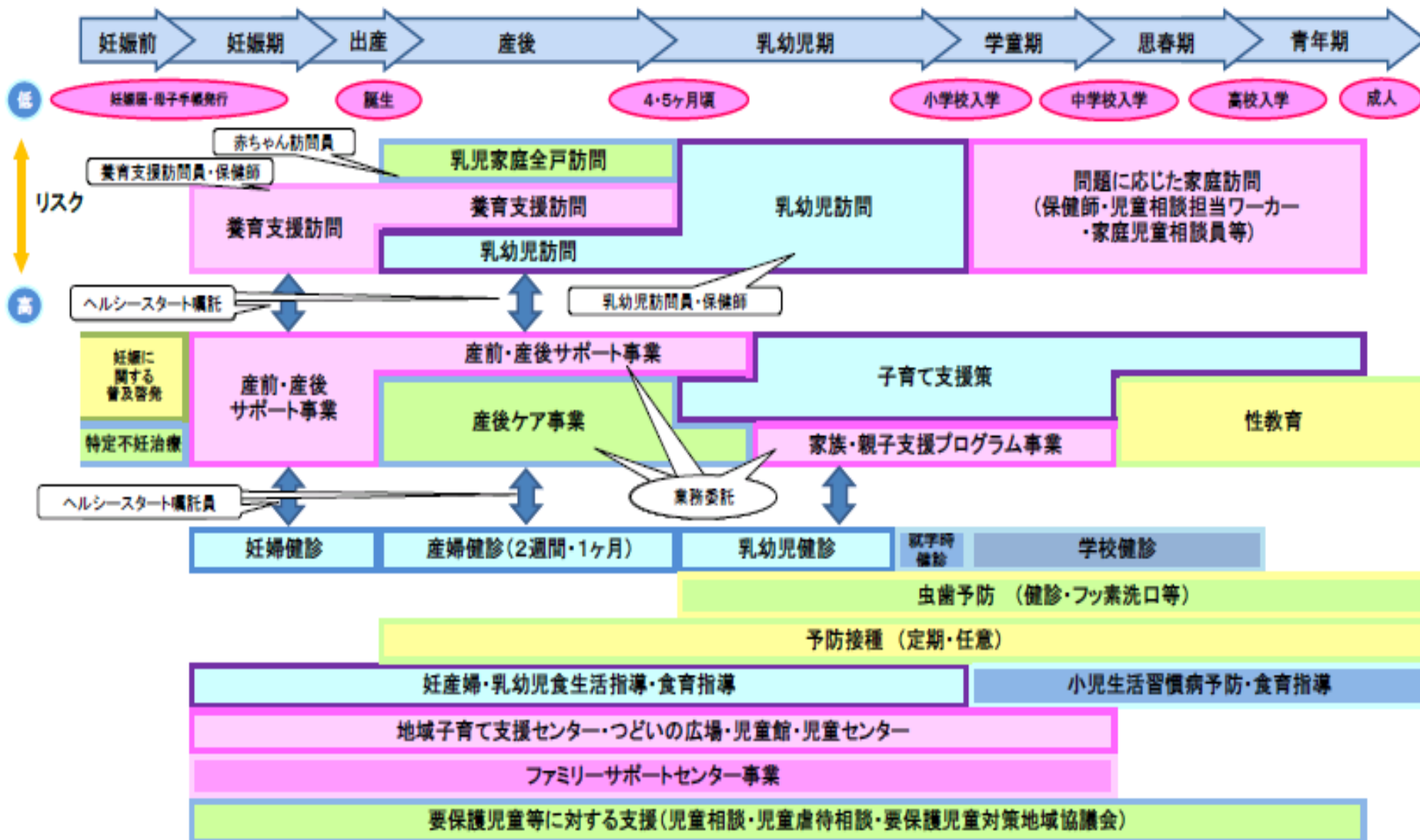


ヘルシースタート事業

子育て世代包括支援センター

要保護児童等に対する支援の拠点

子どもの未来応援会議(子どもの貧困対策)



ヘルシースタート（平成30年度新規事業）

○産婦健診事業

(1) 事業目的

出産後間もない時期の母子への健康支援を行うことで、産後うつの予防、養育不安の解消等を図る。

(2) 対象者

市内に住所を有する退院後1週間から産後2か月未満までの産婦。

(3) 実施の方法

県内の医療機関において原則2回健診を実施し、その費用を助成する。

○産後ケア事業

(1) 事業目的

産後における母体の健康管理に対して、適切なサポートを行うために、助産師等による心身のケアの提供を行い、産後も安心して子育てができるよう支援する。

(2) 対象者

市内に住所を有する生後5か月未満の乳児とその母親で、精神的不安等があり、本人が支援を必要としている者。

(3) 実施の方法

市内の指定された産婦人科医院等において、日帰りのデイケアを4回実施し、その費用を助成する。

放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）

【目的】

保護者の就労、その他の理由により、放課後に保護者の監護を受けられない児童について、適切な遊び場及び、生活の場を提供し、その健全育成を図る。



【事業経過】

「日向市子ども・子育て事業計画」に基づき、平成28年度に3クラブ、平成29年度に1クラブ増設し、現在10ヶ所で児童クラブ（定員380名）を開設し、子育て世代の就労支援のため、児童が放課後を過ごす安心・安全な居場所の提供を行っている。

テーマ②

『産業振興』

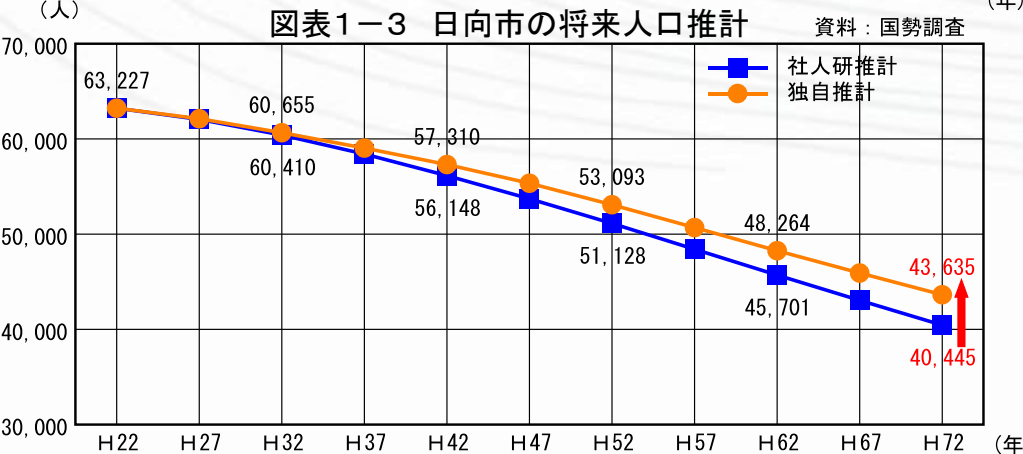
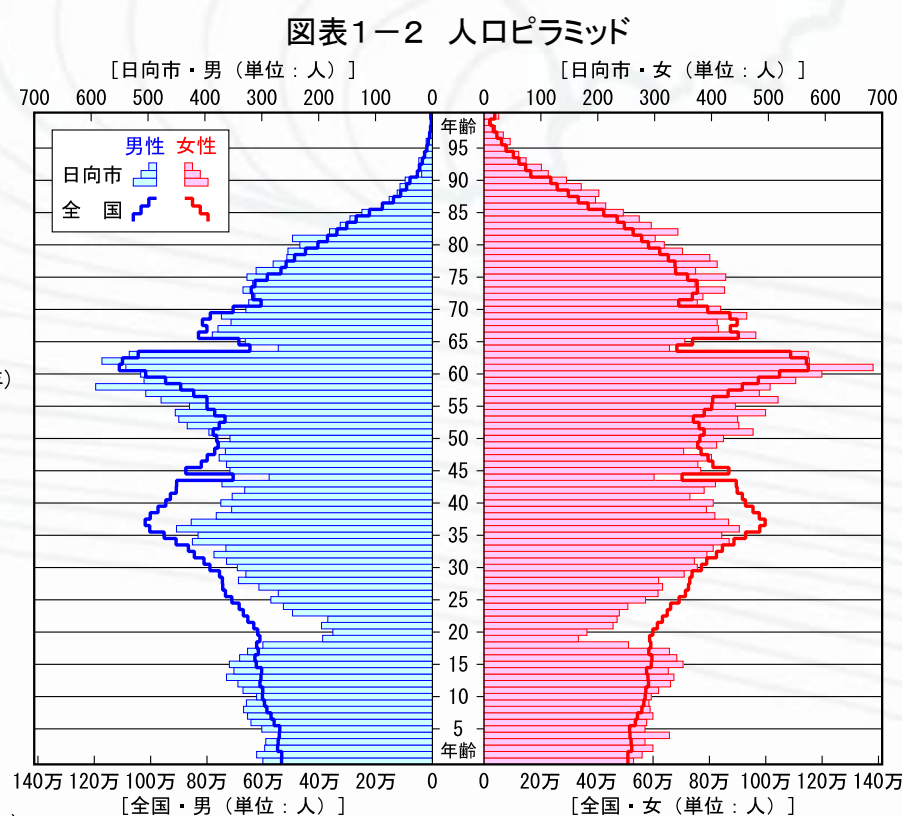
戦略 2 活力を生み出すにぎわいづくり戦略
若者が魅力を感じる活力に満ちたまちをつくります。

2-2 元気と活力を生み出す“しごと”づくりプロジェクト

- ・ 地元企業の新たな挑戦ややる気のある若者、女性の起業を支援します。
- ・ 地域資源を生かした地域ブランドの開発や販売促進に取り組みます。
- ・ ヘルスケア産業などの次世代産業の企業誘致を推進し、働く場所を確保します。

主な
事業

ひむかーBiz事業の推進、細島港の物流促進、地域ブランドの開発・普及
内陸型工業団地の検討、異業種間交流の促進
資源循環型林業システムの構築、薬草の里づくりの推進



- 昭和50年代半ばまで：転入者数が転出者数を上回る「社会増」と、出生者数が死亡者数を上回る「自然増」により人口は急激に増加。
- 昭和50年代半ば以降：転出者数が転入者数を上回る「社会減」に転じ、それを自然増加が補う形で緩やかな減少傾向が続いてきた。
- 平成17年以降：出生者数と死亡者数がほぼ同数となり、平成22年からは死亡者数が出生者数を上回る「自然減」に転じている。⇒本格的な人口減少時代の到来

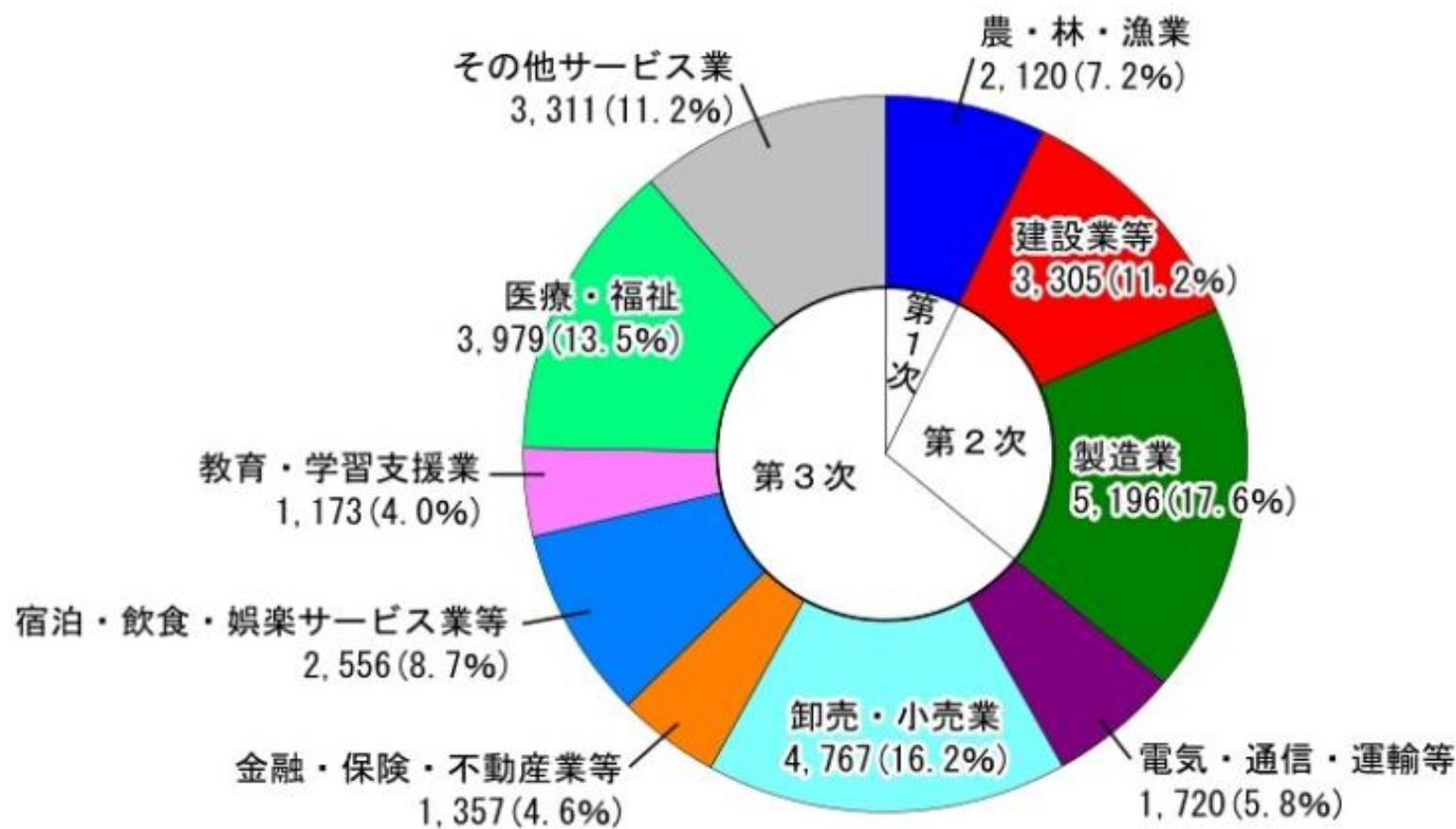
◇18歳から40代半ばまでの世代・・・全国に比較して著しく少ない状況（本市に大学などの高等教育機関がなく、希望する就職先が少ないため、高校卒業後、進学や就職により市外に転出し、そのまま居住する傾向が高いと推察）

☆人口の将来推計：平成72年の人口は40,445人に減少すると予測されているが、人口45,000人以上を維持することを目標に掲げて取り組んでいる。

日向市の産業構造

t₂-!

図表 3-1 日向市の産業別就業者数



日向市の産業別就業者の状況：第1次産業が7.2%、第2次産業が28.8%、第3次産業が64.0%となっており、**全国や県平均よりも製造業の割合が高くなっている。**

新たな挑戦で活力ある産業が育ち、 元気な人が集うまち

t2-!

第二次総合計画に基づく各種施策を実施

- ①アピール力の高い「観光拠点づくり」
- ②多様なニーズに対応した「食の魅力づくり」
- ③戦略的な観光情報の発信
- ④観光を支える組織の強化と人材の育成
- ⑤スポーツを生かした観光交流の拡大

- ①企業誘致の推進
- ②新たな産業の育成支援

- ①就業の場の確保と雇用の創出
- ②産業人材の育成
- ③労働者福祉の向上



農業の振興

- ①担い手の育成・確保
- ②地域資源を生かした特産物の振興
- ③経営安定対策の推進
- ④畜産業の振興
- ⑤農村環境の維持と生産基盤の整備
- ⑥環境保全型農業の推進

林業・木材産業の振興

- ①生産基盤の整備
- ②林業経営の改善
- ③森林資源の需要拡大の推進
- ④森林資源の保全と活用

水産業の振興

- ①水産資源を守り増やす取り組みの推進
- ②漁業の経営基盤安定化
- ③内水面漁業の振興

商工業の振興

- ①活力ある商業の振興
- ②高度な技術力を生かした工業の振興

雇用の確保と創出

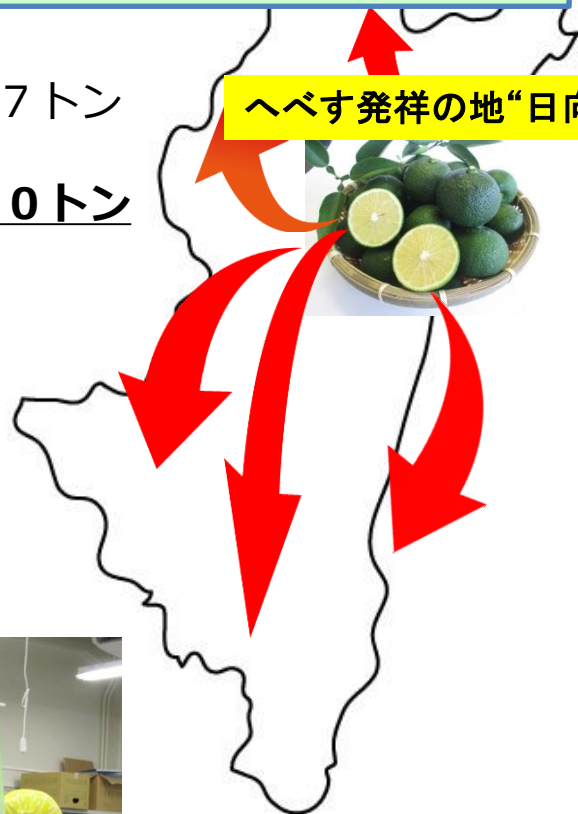
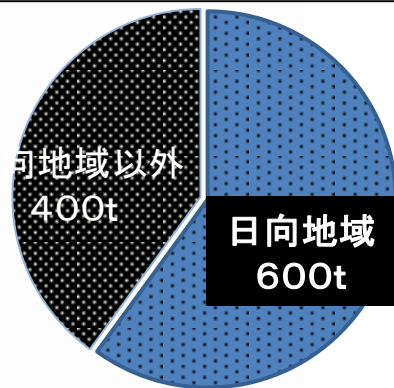
企業誘致と次世代産業の育成

地域を活性化する観光の振興

$t_2 - !$

【県全体の生産目標】

(H37) 40ha:1000トン



平兵衛酢 全国展開目指す

カボス（大分県、スダチ（徳島県）に追い付け追い越せ。日向市や門川町、県などは、近年需要が増えている日向地域特産の香酸かんきつ（酢ミカン）類「平兵衛酢（へべす）」の栽培を県内全域に広げて生産量を拡大させ、全国展開を視野にブランド化を目指す。12日に地元首長や生産者団体の代表者らが県庁を訪れ、生産競争強化へ意欲を示した。

平兵衛酢の生産量は近年1,200トン前後で推移。価格低迷や生産者の高齢化もあり、ピークは1995年の21,333トンの半分程度となっている。地道なPR活動や加工品の増加などで首都圏などでも徐々に知名度は高まっているが、生産量が追いつかずブランド化の足かせとなっていた。

加えて、昨年の県内生産量1,063トンのうち97%を日向地域が占める。平兵衛酢の販売価格は1トン47.9円（2015年、露地物）と温州ミカン（同）の2倍以上となっていることから、県などは、かんきつ類の栽培が盛んな県南地区を中心に、国の補助事業などを

農家や自治体タッグ



用い平兵衛酢への改竄を奨励する。

平兵衛酢の生産拡大に向け会見した成合部会長（左から5人目）や十屋市長（同4人目）、安田町長（1番左）ら＝12日午後、県庁

力して日向市周辺で苗木を生産。現在の栽培面積24畝（15年）を25年に40畝に増やし、将来は千本の生産態勢を目指す。

県庁ではこの日、J A日向平兵衛酢部会の成合利浩部会長や、土屋幸平

・川町市長、安田修一、成合部会長らは「生産地を全国に広げるのは大切な娘を嫁にやる気持ち」と、「日向地域の宝を宮崎、日本、世界の宝とするためカボスやサダチに追いつけ追い越せで取り組む」と意気込んでいた。（奈須真芳）

【産地拡大に向けた課題】

- ・生産園地の確保
- ・生産者の確保
- ・苗の供給体制確立
- ・栽培技術の継承
- ・ブランドとしての品質保持



農業：薬草の里づくり

t₂-!

「薬草の里」づくり構想



- 薬草などの有用植物や農産物の栽培による雇用創出と農家収益の増
- 地域づくりへの参画による高齢者の生きがいづくりと健康増進
- 歌人若山牧水を育んだ自然環境を活かした「薬草の里づくり」の推進
- 都市との交流を促進する観光農園や薬膳料理などの観光商品の開発

林業

延岡・日向地域 林業成長産業化地域構想



林業成長産業化地域を目指して

担い手の確保



従事者増加 150人
現況 担い手不足

適確な再造林の推進



再造林面積 370ha
現況 276ha(再造林率78%)

素材生産量の増大



生産量 20万 m^3
現況 約17.7万 m^3

地域の原木需要の増大に対応するとともに、
持続的な資源循環型林業のモデルを構築

「ヒト」

「伐って、使って、すぐ植える」
収穫する つかう

「ココロ」

人材育成(研修制度)
高校生職場体験
人材バンク設置

インダストリアルツーリズム
市民参加型シンポジウム
モデル的木造建築支援

コンテナ苗生産
造林技術開発

新たな木材用途開発
森林認証材需給体制構築

「カネ」

再造林バンク
(仮称)設置

「モノ」

「ヒト」・「モノ」・「カネ」・「ココロ」の好循環を生み出す仕組みづくり!!

t₂-!

新たな特産「細島いわがき」

平成23年に生産がスタートし、H28に20 tを生産、H29には25 tを生産し、県内一の生産地となっています。
 現在「細島いわがき生産者部会」に所属する4経営体が生産しています。

- 4 特徴（山の恵み、潮の恵み、手間をかけている、旬が春・夏）
- 生産量県内第一位
- 「へべす」とよく合う



細島いわがきが美味しい理由 その1

山の恵み **潮の恵み**

細島港は、海と山が近く、植物プランクトンが豊富！だから、牡蠣が大きく美味しく育ちます！

また、潮の流れが常にあるので、透明度が高い清浄な環境で生育しています。

出荷前の「細島いわがき」。透明度が高いので、水深10mの海底まで見ることが出来ます。
 (2021.6.19撮影)

細島いわがきが美味しい理由 その2

手間をかけています

人工種苗ではなく、自然に付着した天然の岩ガキの赤ちゃんを全て手作業で丁寧に育て上げています。

海にいかだを浮かべてホタテの貝殻をつりさげます。

1

海中に漂っている天然の岩ガキの赤ちゃん（稚貝）がホタテの貝殻に付着します。

2

稚貝が成長して、かたまり状になります。

3

出荷まであと少し！

4

細島いわがきが美味しい理由 その3

春・夏に食べられます

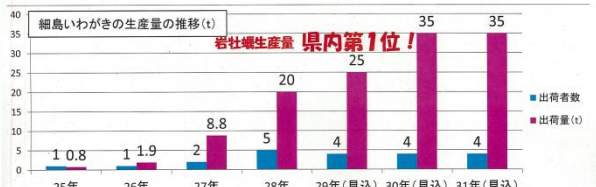
細島いわがき

- ★ タウリン、グリコーゲン、亜鉛など栄養成分たっぷり！
- ★ 夏バテ防止や肝機能の働きをよくする効果があります！

6月から出荷が始まる同じく日向市特産の「へべす」が岩牡蠣の味を一層引き立てます！

へべすをかけると・・・

- ★ 全10種類中8種類の必須アミノ酸を摂取することができます。
- ★ へべすに含まれるビタミンCにより、亜鉛が吸収されやすくなります。



細島いわがきの普及状況



支援区分	支援内容	支援の効果等
①生産支援	- i 採苗等の生産技術指導 - ii 生産資材に対する補助 - iii 先進地視察	・生産量県内第一位(【H29】25t【H30】35t見通し) ・H29、H30の減産を回避(延岡、門川は採苗に失敗、2市町で【H29】7.5t【H30】9.4t見通し)
②出荷支援	- i 生産者部会設立、組織的出荷推進 - ii ふるさと納税記念品の取扱開始 - iii 生食用出荷の検討	・市内継続取扱事業所(H29.7時点) 【H27】4事業所 →【H29】16事業所 ・ふるさと納税出荷実績【H29】59件218.5kg
③販促支援	i 市内飲食店等向け試食会の開催	・参加21事業所中8事業所が新規取扱開始【H28】
	ii メディアを利用したPR	・TV放映・記事掲載 【H28】14社27回 →【H29】18社38回
	iii 販促資材の作成、設置 のぼり旗、リーフレット、POP、展示パネル	・かき寧、道の駅日向、海の駅ほそしま、 はまぐり碁石の里の売上増
	iv 市内イベントの出店支援	・生産者直売の売上増【H29】 ゴールデンウィーク690kg、大感謝祭300kg(振る舞い) 細島みなと祭り430kg
	v 牡蠣小屋への助言	H28.6.17日向市初の常設牡蠣小屋「かき寧」開店
	vi 市外へのPR	観光協会、はまぐり碁石の里、県福岡事務所と連携し、 九州管内をターゲットとしたメディア戦略を図る。
	vii 成分評価(みやだいCOC事業活用)	旬外れの時期の成分の優位性の明確化により、年間を 通した出荷拡大を図る
④体験学習	カキ講座【H29】 大王谷学園4年生	・地域と地域特産物への愛着心の醸成 ・将来的な担い手の育成

工業：細島港の発展（昭和40年代→現在）t₂-!

重要港湾「細島港」を核として、港湾や高速道路の整備促進、物流機能の強化、細島工業団地への企業誘致などを積極的に進めてきた

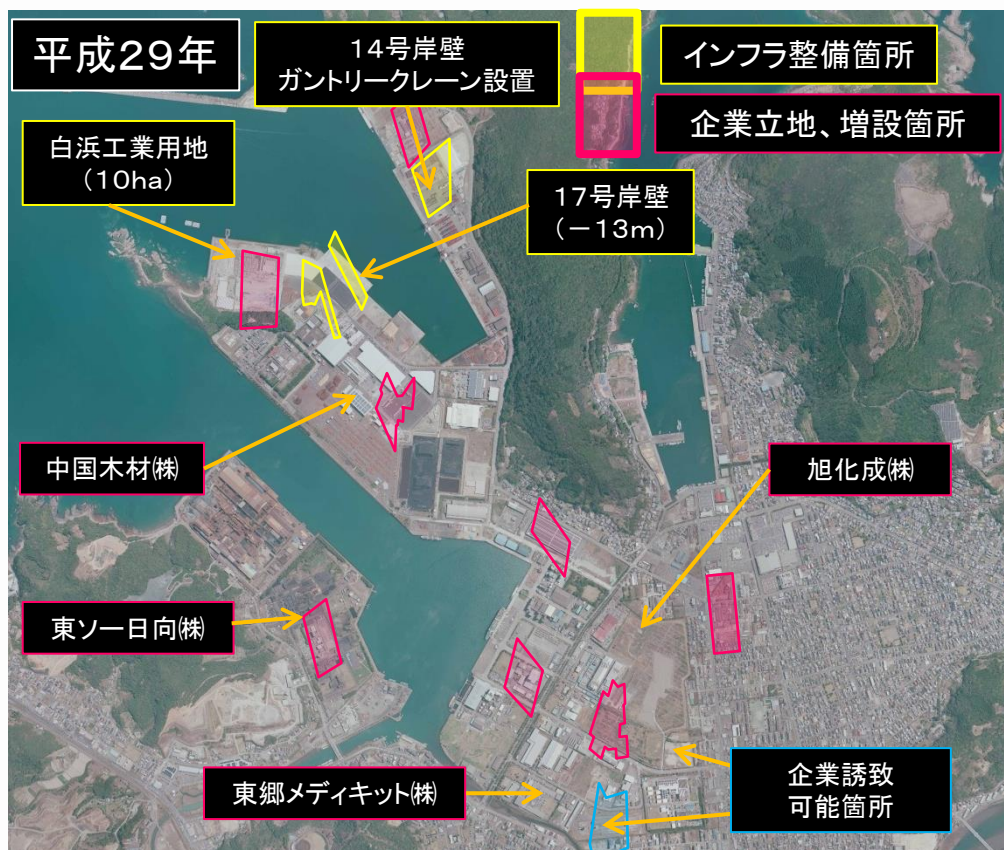


現在は、細島港を中心に産業の集積が図られ、細島工業団地には、リチウム電池部材の生産工場や医療機器工場など成長分野として期待される産業や木材関連産業の企業立地が進んでいる。

国、県のインフラ整備と本市の企業誘致

t₂-!

- 国、県による計画的なインフラ整備により、細島港の港湾機能が強化
- 平成17年4月に「日向市企業立地促進条例」を改正し、事業所の新設・増設について優遇措置を拡充
- 平成25年7月に「日向市工場立地法準則条例」を制定（宮崎県初）により、工業専用地域の緑地面積割合を20%から5%に緩和
- 県・市・民間が一体となり、企業誘致！ **誘致のためなら条例制定！条例改正！**



【インフラ整備】

○港湾事業

17号岸壁、背後ふ頭用地、沖防波堤、
白浜工業用地、14号岸壁ガントリークレーン、など



新国際物流ターミナル(17号岸壁)竣工

$t_2 - !$

凡例

- 木材関係
- 飼料関係
- 食品関係
- メタル関係
- 化学関係
- 製造関係
- 建設資材関係
- 輸送関係
- リサイクル関係

- 凡例
- 木材関係
 - 飼料関係
 - 食品関係
 - メタル関係
 - 化学関係
 - 製造関係
 - 建設資材関係
 - 輸送関係
 - リサイクル関係

I T企業やコンタクトセンターの誘致

t₂-!

女性や若者など幅広い求職者のニーズに対応するために、製造業だけでなく情報サービス関連企業などの誘致にも取り組んでいます。

エンザントレイズ株式会社

○主な事業

- ・システム開発及びサポート
IBMソリューション事業
オープンシステム事業
VoIPコミュニケーション事業

○事業拠点

- ・国内10拠点



大手企業のシステム開発などを手掛ける。業務は、東京本社と全国の地方都市に置かれた拠点でニアショア開発を行う。

株式会社ジュアルディ

○主な事業

- ・マルチコンタクトセンター
・ITサービス、システムサポート
・IDC(データセンター)ほか

○事業拠点

- ・日向本社
宮崎センター、沖縄センター



平成28年に本社を日向市に移転。多言語マルチコンタクトセンターやデータセンター、システム構築等を行う。

株式会社テレネット

○主な事業

- ・コールセンター
・セールスプロモーション等

○事業拠点

- ・アメリカ、中国、フィリピン
・国内11か所目の事業所。



旧幸脇小学校の校舎を活用して日向コンタクトセンターを開所

今後、施設内に保育園を設置して働くお母さんをサポート

日向市産業支援センター「ひむかーBiz」

t₂-!

“行列のできる企業相談所”として、地元企業の新たな分野への進出や販路拡大、**やる気のある若者や女性等の起業を後押し**するために、中小企業の強みを生かした課題解決策を提案できるコーディネーターを配置した相談窓口を開設し、細やかな経営相談やフォローアップを行う。



日向の人も売上もヒートアップ!

ひむか-Biz



強みを活かす
アドバイス

まずは **ひむかBiz** に
相談してみよう!

ひむか-Biz 相談件数報告書

※平成29年1月24日～平成30年4月28日（4月7日現在）

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
30	125	123	131	116	144	102	118	125	114	116	121

＜相談回数＞リポート率:72% 最多相談回数:57回 内訳 日向市:74%

1月	2月	3月	4月	合計
122	132	156	88	1863

創業に関する相談	45件
創業できた	11件
売上がアップした	77件

日向市	1370	椎葉村	27	綾町	4
宮崎市	113	都農町	18	高鍋町	3
門川町	102	川南町	12	都城市	2
延岡市	85	西都市	8	諸塚村	2
美郷町	67	新富町	5		
東京都	31	福岡県	8	神奈川県	5
静岡県	2	アメリカ	1		

＜オープンから約1年で成果が得られた相談例・動き＞

バレンタイン施策として四つ葉のクローバーをセットにしたマロントリュフの販売を提案。地域の方に集めてもらったクローバーは324枚、商品は120個完売し、店舗の活性化にも繋がった

サーフィン移住をした夫婦が、開業準備のため効果的なSNS発信方法などを相談。資金面で日本政策金融公庫・日向商工会議所とも連携し、無事予定日にオープンを迎えた

看護師から転職し、家族でカフェを開く夢をかなえるため、ひむか-Bizでコンセプト・メニューなど明確化。オープン後は、母親の意向で始めたことも食堂としても、憩いの場となっている

販売のみを行っていたが、イートインスペースを設け、餃子定食の提供を開始。新聞にも取り上げられ、市外から来られたお客様もいた

パソコンの修理を得意とする女性と2月から相談を進めてきた。ニーズ、サポート内容を明確化し、商工会議所・日本政策金融公庫とも連携の末、5月末にPCのトータルサポート業を開業

菓子店

整骨院

カフェ

仕出し屋

新規開業

主婦

中華料理屋

和菓子屋

お酒の卸売店

地元老舗企業

メニューの打出し方を変えたところ、通常の倍「炒飯」が売れた

日向経済新聞への掲載がきっかけで、新商品が関西のラジオで紹介された

利酒師の資格を持つ店主が全国の酒造からおすすめのお酒を仕入れており、県北では唯一取り扱いの商品も販売していることから、角打ちを始めた

新名物開発にあたりキャッチコピーや商品名を考えた、観光面でも日向市をけん引してきた、地元老舗企業

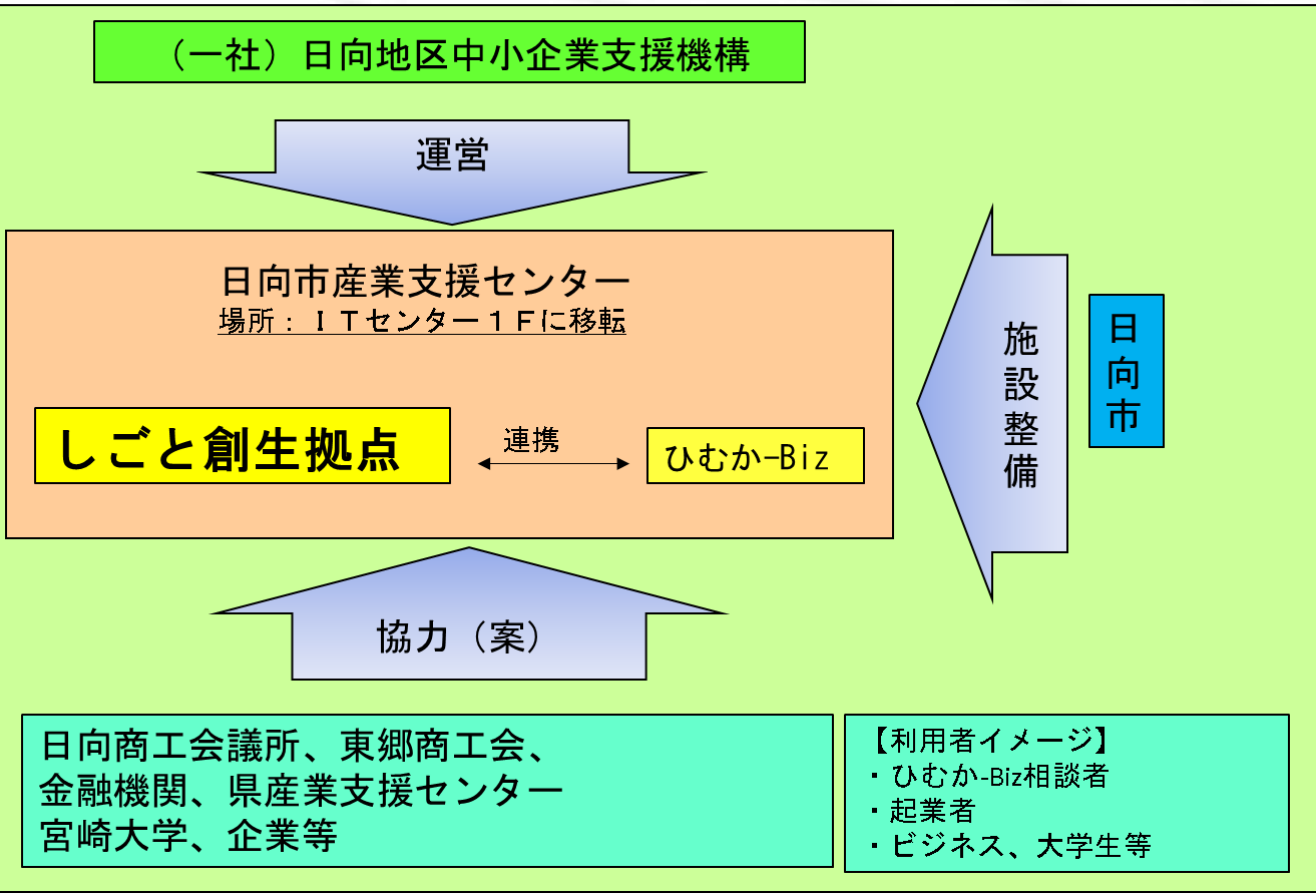
自作のキャラクターが登場し、日向の神話を盛り込んだ絵本を自費出版・ふるさと納税返礼品への登録を提案。5月下旬に2冊の絵本を出版した

t₂-!

日向市しごとと創生拠点施設の整備

地方創生の原動力である創業やベンチャー、ローカルイノベーションを支援する「しごとと創生拠点」施設を整備し、若者や女性の起業・創業支援や地元企業の活性化を推進し、新たなしごとや雇用を創出する。

【しごとと創生拠点の設置・運営イメージ】



日向市ITセンター1階に「しごとと創生拠点」を整備し、若者や女性の起業、創業支援や地元企業の活性化を推進し、新たなしごとや雇用を創出する。

事業者等を支援するコーディネーターを配置し、ビジネスコミュニティ機能を持たせることで、地域産業のビジネスマッチングにもつなげる。

ひむか-bizも同施設に移設し、連携して地域の産業の活性化を図る。

日向市しごとと創生拠点施設の整備

t₂-!



**今月6月26日開所
(ひむかBizも移転)**



$t_2 - !$

国の採択を受けた実践型地域雇用創造事業を活用し、雇用者と求職者のマッチングのための各種セミナーの開催や、慢性的な人材不足が**続く保健・福祉分野の雇用増加を図りつつ人財を育成する**とともに、豊富な農林水産資源をもとに、基幹産業で培った機械加工技術と連携させながら、**地域資源を活用した商品開発と販路の開拓を実践事業で構築し、雇用を創出していく**もの。

ひ む か
『人・夢・輝く 日向しごと創出プロジェクト』

日向市地域雇用創造協議会

218名※現時点

[illegible]

『リラックスタウン日向 しごと創出プロジェクト』(H30年度～H32年度)

雇用創出目標:159人
総事業費:21,844万円

趣旨

日向市は、製造業をはじめとする第2次産業が盛んであるが、近年は情報系等オフィスワーク企業の企業誘致も進み、この分野の人材育成が求められている。情報系等のオフィスワーク分野は、女性や若者にニーズが高く、人口流出の抑制と雇用創出につながる。
また日向市は、温暖で豊かな自然環境を活かした観光産業の振興に取り組んでいるが、「宿泊客の割合が低い」、「食やお土産品が少ない」という課題を抱えている。絶景の日向岬や日本有数のサーフスポットといった多くの観光資源と豊かな農林水産物等を組み合わせ、ブランディングし、新たな食や商品、体験メニューを創造し、観光に関連する産業を活性化することで、新たな雇用創出を図る。

重点分野	情報系等のオフィスワーク分野	観光の分野
現状と課題	特に女性や若者が求める傾向にあるオフィスワーク系の雇用創出が求められている。近年はICT系企業の誘致も進んでおり、この分野の雇用拡大、人材育成を図ることで、雇用のミスマッチ対策や若者・女性の流出抑制を図る必要がある。	絶景の日向岬や全国トップクラスのサーフィン環境等の豊かな観光資源の活用による観光振興を推進しているが、目玉となる「食」「お土産品」等が少ないという課題がある。これらの開発で観光関連産業の活性化が期待されている。
実施内容 【事業主向け】	(共通) 経営者のための採用力向上セミナー、自社(商品)の情報発信力向上セミナー、起業・創業支援セミナー、コラボ(異業種交流)商品開発セミナー	
①雇用拡大メニュー		外国人観光客対応力向上セミナー、実践メニュー公開セミナー
【求職者向け】	(共通) 女性のための再就職応援セミナー、シニアのための再就職応援セミナー	
②人材育成メニュー	パソコンスキル向上セミナー、コミュニケーター育成セミナー	販売業で働くための人材育成セミナー、食品加工技術習得セミナー
【事業主・求職者向け】	(共通) 総合就職面接会、UIJターン希望者向け就職説明会、広報・情報提供事業	
③就職促進メニュー		
④雇用創出 実践メニュー	日向岬やサーフィンをはじめとする地域資源等を活かした商品開発・観光ブランディング事業 絶景の日向岬や全国有数のサーフスポットなどの恵まれた観光資源と豊富な農林水産物を組み合わせた、観光の目玉となる「食」や「お土産品」などの商品開発やブランディングで、観光関連産業の活性化による雇用の創出を図る。	

事業効果

- ① 若者や女性、移住希望者にニーズのある分野の雇用創出と人材育成を強化することで、雇用のミスマッチの解消と人口流出の抑制が図られる。
- ② 絶景の日向岬やサーフィン等の恵まれた観光資源と豊富な農林水産物等の地域素材を組み合わせ、ブランディングすることで、観光関連産業の活性化による雇用の創出と、市のイメージアップによる人口減少対策が図られる。

観光：「新しい日向市観光推進計画」の概要

地域も観光客も ワクワクする物語

～ 市民自らが「観光まちづくり」に関わり、
おもてなしの主役を演じている ～

新しい日向市観光推進計画における目標

- ① 観光入込客数を年間 168 万 4 千人へ
※日向市の観光入込客数：H26 年実績の 23%増へ

平成 26 年度 (基準)	1,360,750 人	➡	平成 32 年度	1,684,000 人
------------------	-------------	---	----------	-------------

- ② 観光消費額を倍増へ

平成 26 年度 (基準)	21 億 3 千万円	➡	平成 32 年度	倍増
------------------	------------	---	----------	----

(参考) 平成 26 年観光関連産業従業者数を基準に維持へ

平成 26 年 (基準)	5,363 人	➡	平成 32 年度	維持※
-----------------	---------	---	----------	-----

※本市の観光産業における従業者数は、平成 21 年から平成 26 年までに 0.7%減少しています。今後、市全体の人口減少が想定されるため、増加ではなく維持させることを目標とします。

- ③ 日向市観光協会ホームページアクセス件数を 30 万件へ

平成 26 年 (基準)	157,000 件	➡	平成 32 年度	300,000 件
-----------------	-----------	---	----------	-----------

◇観光推進に向けた取組

地域も観光客も ワクワクする物語
～市民自らが「観光まちづくり」に関わり、
おもてなしの主役を演じている～

多様なニーズに対応した 「食」の魅力づくり

新たな“日向飯”づくり、女性や外国人に
ニーズの高い「健康」や「美容」をテーマとし
た食の開発、日向市駅の駅弁開発、観光4
駅で統一メニューの開発、「へべす」の知名
度アップ、飲食店のおもてなし力強化 など

日向市ファンづくり、外国人観光客への
対応、人材育成、多様な観光パンフレッ
トの作成、災害時への対応（観光客向
け）、観光案内板の充実 など

“文学（牧水のふるさと）”と“郷土食（薬膳
料理）”による食文化観光圏の形成、グリー
ンツーリズムの展開 など

5つの観光拠点を結ぶ軸の強化

快適な移動空間の創出

- ・ウォーキングロードの充実
- ・まち歩きルートの施設整備
- ・環境保全散歩道整備
- ・自転車ルートの形成
- ・愛犬と歩けるルート
- ・人に優しいバリアフリー整備
- ・景観や安全面に配慮した樹木の伐採 など

魅力ある新たな施設整備

- ・観光客が利用できるトイレ
- ・免税店や物産などの買物できる場
- ・リゾートホテルや旅館、民宿などの宿泊施設 など

観光による広域連携
（阿蘇、高千穂など）

戦略的な情報発信・PR

「道の駅ほそしま」を核とした“食”の
魅力発信や“町歩き周遊ルート”の
確立、クルーズ船の受入環境づくり、
インダストリアルツーリズムの展開、
緑地化の整備促進 など

日向市観光の窓口としての機
能強化、誘客性の高いイベント
等の誘致 など

スポーツキャンプ・合宿、
既存資源の機能強化

高速道路や鉄道を
利用した来訪

クルージング船入港による
インバウンド

馬ヶ背案内
所の施設機
能の拡充
など

既存資源の
機能強化

案内所、トイレ等
の整備 など

・スポーツを活かした観
光交流の拡大、プロ野
球やプロサッカーなど
のキャンプ誘致、オリ
ンピック（サーフィン）や
ワールドカップ等の合
宿誘致、スポーツイ
ベントにあわせた体験教
室等の開催、サー
ファー向けの情報発信
など
・日向サンパーク温泉
の機能充実 など

“歴史・文化”と“観光”を融合させ住
民と一体となったアートなまちづくり
など

航空機利用による来訪

国内線（LCC）、国際線（台湾・韓国・香港）

東郷地区
拠点

中心市街地
拠点

細島地区
拠点

伊勢ヶ浜
門前まち
拠点

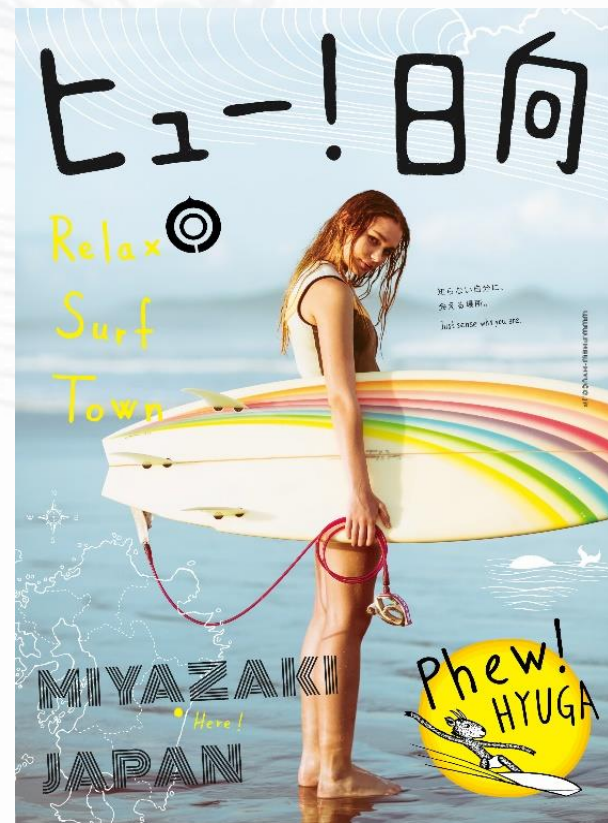
美々津地区
拠点

リラックスサーフタウン日向プロモーション

全国屈指のサーフスポットを有する日向市ならではの魅力を発信するプロジェクト
「リラックス・サーフタウン日向」を
2016年12月1日より開始



なにかに驚くほど感動したとき、そしてリラックスしたときに思わずもれてしまう「ヒュー！」という言葉を用いた「ヒュー! 日向」をキャッチコピーとしています



内気なネットサーファーが、約2ヶ月半のサーフィンでリアルサーファーに大変身、海だけでなく、仲間と食事、囲碁、ひよっとこなどを楽しみ、少年の成長と日向が楽しめる動画となっています。

サーフタウン日向基本構想の策定

t₂-!

将来のイメージ図

